

Minuma Shun Sai

# 見沼・旬彩

2017-2018年冬号 vol.6

八つ頭イモ

末広がりの「八」と子孫繁栄や人の「頭」になるようにとの縁起物としておせち料理などによく使われます。埼玉県の農林総合研究センターが、近年、開発した「丸系八つ頭イモ」も販売されています。ほんのり甘く、ホクホクした食感で食味が良く、皮むきが簡単な特徴を持つています。

八つ頭の茎は、「ズイキ」として酢の物で食べたり、干したものをして「モガラ煮」としても食べます。



おせち料理の仲間から最近外されていますが、ほろり苦みのあるホッコリとした独特の個性があります。芽が大切ですので欠かない様に薄皮を丁寧に剥きます。かぶさる位の水から中火で30分位で火が通ります。少々潰したクチナシの実と砂糖を足します。更にコトコト10分、様子で水をたし、塩で味をしめてそのまま冷めるまで置く事で味がしみ込みます。

## クワイの甘露煮



# 上山口新田の「水田」を守ろう

## 上山口新田の「水田保全米」パートII 星野昇保さん

代々農家の星野昇保さんは勤務時代は親の手伝い程度だった農作業を定年退職後の今は「楽しみながら」専念しているそうです。持ち前の努力でさいたま市のシンボル景観の一つ上山口新田の水田を維持したいと約3反、コシヒカリ等を耕作しています。ここ中川地区の用排水組合長でもあり、減少を続ける水田を少しでも耕作が維持できるよう、お互いに励ましあってこの貴重な地域を守りたいと話されています。

収穫米は多くないので自宅用や親戚で消費する他、地域のイベントに提供。以前天日干の「こだわり米」とテレビで紹介された星野さんの米、一度食べてみたいのですが、販売は無しとのこと。

「自分で食べる米をつくる」というやり方が、もし一般市民にも可能になれば、「水田保全」の一つの方法になるのではないでしょうか。

大宮区天沼1-382



星野昇保さん

## 『炊き込みご飯』

かがやく新米を手間なしで、一度に美味しいいただけましょう。今が旬の白菜一夜漬けと大根の味噌汁、一汁一菜で夜長を楽しめませんか！

- ・見沼の新米…3カップ
- ・鶏肉・モモは粗く刻む…150グラム
- ・ゴボウ・ニンジン・ひじき・シラタキ・戻した干しシイタケ千切り…適量
- ・酒・醤油・こぶだし…大さじ2
- ・干しシイタケを戻した汁を合わせて水加減した洗米の上に具をのせて炊飯します。炊き上ってから上下良く混ぜて、10分ほどムラします。



## 染谷農産物直売所

片柳コミュニティセンターの農業研修室前の広場に11年前に開設され、地元の野菜・米・果物・花・農協加工品等、季節の品種も豊富に揃えています。

「人にやさしく、環境にやさしく」をモットーに、愛情たっぷりに育てられた採りたて野菜や加工品が豊富に並び、地元の方は勿論のこと、車で来る常連のお客さんで賑わっています。土日の朝9:15のオープン前には、野菜等をたっぷり買込んだカゴがレジ前にたくさん並ぶ程の盛況です。見沼のコシヒカリの新米5kg 1,800円、もち米1kg 400円も人気です。

浅子代表を中心に近隣の農家さんが一致団結、お客様に喜ばれる直売所を目指しています。「わからないことは何でも聞いてください」と、レジ周りでは元気な女性スタッフとお客様の楽しい会話が聞こえます。

見沼区染谷3-147-1 片柳コミュニティセンター

TEL.048-684-2435 (浅子代表)

営業日時 土・日の9:15～16:00



▲左から北村さんと  
齋藤さん

## 平成29年度 年末農産物即売会

平成29年12月27日(水) 10:00～14:00(※雨天決行)

場所:さいたま市役所東側広場

主催:さいたま市農業青年協議会

市内の若手農業者が生産したお正月用の農産物の即売会を開催します。季節の花や、日頃見かけない珍しい農産物など、色とりどりに販売されます。農業者が搗いた、のし餅も販売の予定です。



◀昨年の年末農産物即売会



## 第17回 さいたま市 洋らん展

平成30年2月2日(金)～4日(日) 10:00～16:00

(洋らん展示会場は日曜日は15:30まで)

会場:さいたま市農業者トレーニングセンター園芸植物園内

洋らん展示会場:園芸植物園花き展示温室

即売会場:花き集荷施設

主催:浦和蘭友会、さいたま洋らん研究会

後援:さいたま市



洋らんを使ったディスプレイ・鉢物の展示及び市内生産者の方々による洋らん・園芸資材の即売 ※市民展示コーナーへの出品作を募集しています。2月1日(木) 13:00～14:00までに花き展示温室にて受付

※2月1日(木)は準備のため花き展示温室は閉館となります。

アクセス:浦和駅東口からバス・大崎園芸植物園バス停下車 徒歩5分



## 藤子直売所の年末大売りだし日程

12月28日(木)・29日(金) 10:00～16:00 野菜、花、のしもち等



## 大宮高島屋

大宮高島屋は、JR大宮駅東口より2分の白いビルの歴史ある百貨店です。地下2階エスカレーターを降りて正面には、日本中の名産を取り揃えた野菜・果物売り場があります。

デパ地下の食品売り場といえば、ブランド野菜が定番でしたが、大宮高島屋では、いち早く「地場産野菜」を取り入れて、絶対的な鮮度と安心安全な食を皆様に提供しています。そして、オーガニック・ハーベスト丸山の野菜は、「さいたま市見沼産・未来遺産」ブランドとして、毎週金曜日に出品されています。見沼たんぽに一番近い老舗百貨店大宮高島屋で、地元野菜を食べて、地域環境・地域経済に貢献し、皆で健康になります!

大宮区大門町1-32 TEL.048-643-1111

営業時間 10:00 ~ 19:00



▲大宮高島屋地下2階食品売り場  
◀大宮駅から見た高島屋

## 見沼の卵・あさこファーム



平飼いのゆったりした鶏舎の中で、のびのびと動き回るニワトリたち。見沼で自家栽培した飼料米や野菜を加えたエサを食べて、元気いっぱいの卵を生み落とします。その卵を、隣接する直売所で販売しています。

います。さらに、ヤギ牧場も併設。かわいいヤギにも会えます。新見沼大橋有料道路のたもと、代用水東縁の近くです。

## そごう大宮店

JR大宮駅西口を出るとすぐ斜め前にある「そごう大宮店」は、この地域を代表する百貨店です。地下1階には、埼玉県産の食品はじめ、日本全国の美味しいものが勢ぞろいしています。2017年9月から毎週月・金曜日には、野菜売り場に「オーガニック・ハーベスト丸山」の「さいたま市見沼産・未来遺産」ブランド野菜が出品されています。白菜・大根・キャベツ・ブロッコリー・サニーレタスなど見沼たんぽ地域で栽培された、鮮度抜群で安心と信頼のおける多彩な野菜をご賞味下さい。

大宮区桜木町1-6-2 TEL.048-646-2111

営業時間 10:00 ~ 20:00



▲そごう大宮店地下1階野菜売り場  
◀そごう大宮店

## 「さいたま市見沼産・未来遺産」ブランド野菜とは

さいたま市が誇る都市内緑地である見沼たんぽ地域で作られた野菜のこと。

見沼たんぽ地域とは、見沼代用水を活用した低地の田畠とその周辺の高台の畑や森を含む地域のことです。地方の特産品とは異なり、当地域で栽培された多彩な農産物を総称して「さいたま市見沼産・未来遺産」ブランドと呼びます。

都市内の大規模緑地で農産物を生産することで、新鮮な酸素を供給し、都市型洪水を防ぎ、ヒートアイランド現象を抑制、地産地消によるフードマイレージの低減、地域経済の活性化など、そこに見沼があるだけで大変な恵みを享受しています。



## 浦和軟化蔬菜出荷組合チコリー部会

知る人ぞ知る、さいたま市特産のチコリー。これから季節、1月から4月が旬です。爽やかなほろ苦さと歯ざわりのよさでヨーロッパではお馴染みの野菜ですが、気候の違う日本では栽培が難しく、あまり栽培されていません。さいたま市では、元々生産が盛んだった木の芽山椒などの栽培技術を生かして、30年前から栽培を始めました。主に東京市場に出荷されていて、温度管理など扱いがデリケートなため直売所などの店頭で気軽に見かける、というわけにはいきませんが、採りたてのチコリーのおいしさを味わうことのできる絶好のチャンスです。下記に問い合わせてみてください。

問い合わせ: 浦和軟化蔬菜出荷組合チコリー部会

緑区東浦和5-4-6 TEL.048-873-8649 (営業時間 17:00 ~ 19:00)



▲チコリー部会の皆さん (左から、大熊治房さん、榎本昇さん、有泉康夫さん)



▲さいたま市の野菜コーナー

## ヤオコー大宮盆栽町店

同店は埼玉を中心に1都6県に150店舗以上(うち埼玉86店舗)ある食品スーパーで、今年11月にも浦和PARCO地下に出店しています。

生鮮3品とデリカ(惣菜/寿司/インストアベーカリー)が自慢で、旬の商品を産地・生産者の吟味から流通まで徹底した品質管理を行っていること。中でも大宮盆栽町店の野菜売場では「地元さいたま市の野菜」の幟を立て、更に地元農家さんの顔写真入りの看板が目を引きます。契約農家さんが毎日採りたての野菜を届けてくれると話すのは大熊店長。地域の冷蔵庫代わりとして1日何度も来店して貰える便利な店づくりを目指し、お客様が食事や休憩ができるイートインコーナーを設けたり、毎日の食事に役立つ料理の提案など、客との触れ合いを大切にしている工夫が感じられます。

北区盆栽町485-1 TEL.048-662-8311

営業時間 9:30 ~ 21:45

大熊店長さん▶



## café &amp; gallery 溫々(ぬくぬく)・かぎろひ



▲café & gallery 溫々



▲ある日の満月メニュー

▲かぎろひ

12/27(水) ~ 1/4(木) 年末年始休み

向かいの「かぎろひ」では個性ある食材、オーガニック商品等を幅広く取扱い、隣は最近仲間入りしたリラクゼーションルーム「アマラ」(ラテン語でオレンジ)で、緑に囲まれてリフレッシュ。

予約: TEL.090-7945-6450

見沼区丸ヶ崎1856 TEL.048-686-3620

10:30 ~ 20:00

定休日: 月曜日 満月の日は 21:00まで営業

駐車場無料 <http://cafe-nukunuku.com/>



▲浅子幹夫さん



## 中野農園の「イチゴ」

主力生産種の「紅ほっぺ」は、静岡県の農林技術研究所が15年程前に開発した品種で、甘味と酸味のバランスがよく、コクがあってとてもおいしいイチゴです。

「紅ほっぺ」という名前には、ほっぺたが落ちるくらいのコクがあり、おいしいという意味を込めてつけられたとのことです。

中野農園のイチゴは、JA木崎ぐるめ米(マイ)ランド店「シャキシャキ」やマーミート・三室山崎店、膝子直売所で販売しています。

中野栄寿さん▶

見沼区膝子 595-1 TEL.090-5806-2817



## 膝子・森田さんの「フリージア

膝子・森田さんのフリージアは白、黄、ピンク、紫、そして赤色の、それに花はとても大きく咲きます。あの清楚で気品のある匂いが室内に漂うと、冬の寒さも忘れて心が和みます。

これまでに農林水産大臣賞など数々の賞も受賞している花々。出荷は1月から3月頃までですがお正月にも何とか間に合わせたいとのこと。新春の装いにいかがでしょうか。購入は下記でどうぞ。

膝子直売所、市民の森農産物直売所、JA木崎ぐるめ米ランド



森田 博さん▶

## 冬の花「胡蝶蘭」の黑白洋蘭園



▲「らんや」本店ショウルーム



黑白洋蘭園代表取締役 黒白秀之さん▶

(有)黑白洋蘭園は、現在の代表取締役 黒白秀之さんが胡蝶蘭の栽培と販売の一筋に33年前の1984年に創業しました。商品として「夢鶴～フランゴ～」(種苗登録済み)等があります。面積7,500m<sup>2</sup>(岩槻園含む)、従業員数90名で年間出荷量は30万株です。販売は、市場6割、インターネット等4割であり、贈答用7割、行事用1割、お供え用1割及び家庭用1割です。

主な受賞としては、世界らん展日本大賞ブルーリボン賞等、多数の受賞があり、2009年皇太子殿下御行啓がありました。

見沼区染谷1-188 TEL.048-683-6727  
らんや:見沼区染谷1-133 TEL.048-685-2211  
営業時間 9:00 ~ 17:00

森田 博さん▶

## 葉ぶり・ボリュウムのある丈夫な植栽をモットーの「駒崎園」



▲樹齢100年の五葉松と駒崎好幸さん

植栽に従事して四半世紀。埼玉県農業大学校卒業後2年間、アメリカ・オレゴン州の樹木の農場にホームステイし、植栽の研修を受けました。帰国後、家業を引き継ぎました。広さ約2町(6,000坪)に、30種類(百日紅、そよご、ドウダンツツジ、椿、金木犀、ブルーベリー等)生産販売しています。「作付け(挿し木)から8~10年かけ生育・出荷販売へ」やりがいを感じていますが、最近、温暖化のため、植栽の作業が2週間程度、早めになっています。

見沼区南中丸 627 TEL.090-3310-1857

●コース: 東浦和駅⇒見沼通船堀(トレイ)⇒木曽呂富士塚⇒川口自然公園(トレイ) 東沼神社・富士塚(トレイ)⇒見沼自然の家⇒第一調節池⇒大崎公園(昼食)⇒木傘神社⇒見沼有料橋の上を歩く⇒氷川女體神社⇒見沼氷川公園(解散) 13:30⇒芝原小バス停⇒バス(15分200円)⇒東浦和駅 14:00 予定

- 参加費(資料代等):一人 400円
- 歩行距離 約10km/歩行時間 約3時間30分
- 用意するもの:昼食、温かい飲み物、雨具、筆記具
- 申込み締切り 平成29年12月27日(水)(定員:先着25名)
- 申込み・問合せ:見沼たんぽ地域ガイドクラブ TEL.080-1208-4883 (担当:大神国裕)

## 講演会

主催:未来遺産・見沼たんぽプロジェクト推進委員会

## 危機に瀕する「見沼たんぽ地域の斜面林の保全対策の進め方」

日時:平成30年1月28日(日) 13:30 ~ 16:30

会場:見沼グリーンセンター・中会議室

平成28年10月~11月に実施した「見沼たんぽ地域の斜面林調査」の結果や平成29年6月から7月の「上田・埼玉県知事さんや清水・さいたま市長さんへの要望活動」及び、12月の「奥ノ木・川口市長さんへの要望活動」の成果を踏まえて、市民が提案する「危機に瀕する見沼たんぽ地域での斜面林の保全対策の進め方(基本方針案)」に関するシンポジウムを開催します。

連絡先: 北原典夫 TEL.090-2675-1684 (未来遺産・見沼たんぽプロジェクト推進委員会)



## 人と環境にやさしい農業「人と農」セミナー

日時:平成30年2月9日(金) 14:00 ~ 16:00

会場:見沼グリーンセンター・中会議室

講師:若谷 真人氏(若谷農園園主)



生産者と消費者の距離が近いさいたま市は、他に類を見ない独自の生産・供給スタイルを確立してきました。米や野菜、果樹や植木などの多種多様な生産物、生産環境に応じたバリエーション豊かな販売方法及び農家仲間のユニークな農業経営をご紹介いたします。そして、今後、さいたま市における農業はどうあるべきか、農家、市民の立場から一緒に考えていきたいと思います。(所属:さいたま市ランドコーディネーター協議会、さいたまヨーロッパ野菜研究会、さいたま市農業青年協議会、さいたま市高畠くわい出荷組合、ジュニア野菜ソムリエ。)

連絡先: 黒澤兵夫 TEL.080-1038-6712 E-Mail: kurosawa@peach.ocn.ne.jp

平成30年もいいことがありますように!



▲氷川女體神社

## Information

平成30年「氷川女體神社と二つの富士塚」初詣ツアー  
二つの富士塚を登り、三つの神社に初詣!

開催日時:平成30年1月3日(水) 9:00集合(少雨決行)

集合場所:東浦和駅改札を出た駅前広場

今号に掲載された、見沼たんぽ地域のお米・野菜・果物・花木 直売所マップ



市民が応援する見沼たんぽ地域の人と環境にやさしい都市農業の広報誌  
**「見沼・旬彩」2017-2018年冬号 vol.6**

発行: 未来遺産・見沼たんぽプロジェクト推進委員会

<http://minuma-miraiisan.jp> e-mail: [minuma@minuma-miraiisan.jp](mailto:minuma@minuma-miraiisan.jp)

バックナンバーはホームページよりご覧になれます。

編集: 見沼農業・応援連携部会/デザイン・印刷: 有限会社アームズ

発行日: 2017年12月12日



この見沼農業の応援連携・季刊誌「見沼・旬彩」は、公益財団法人 サイサン環境保全基金様、公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟様、三菱UFJニコス株式会社様、トヨタレクサス様、住友ゴム工業株式会社様からの助成金で印刷・発行しております。